



自由と民主主義はどこへ

トルコにあるサウジのアラビア領事館内でカシヨギ氏がサウジのチームに殺害された。
ムハンマド皇太子は「犯人を裁判にかける」と云うが「皇太子の指し」を疑う声も強い。外国まで暗殺チームが出かける国。公正な裁判があるだろうか？

サウジは絶対王制の国。コーランが絶対。国会もない。国民はイスラム教を信じなければならず、信教の自由もない。
トルコは皇太子の関与には触れていない。もし関与の証拠を掴んでいたら、サウジとの交渉の切り札。チクチクと大切に使うだろう。

トルコのエルドアン大統領も民主主義には大問題。クーデター未遂事件を契機に四万五千人も粛正。彼を批判する新聞社等は解散された。

トランプ氏とサウジ

各国は

他国の民主主義を云々するトランプ氏だが、サウジの絶対王制には云わない。サウジは十二兆円もの兵器を米国から購入するお得意さんだから。トランプ氏個人としても、資金繰りの為、プラザホテル(三六四億円)等をサウジの王子らに買って貰った。何が言えよう。
原油輸出世界一のサウジが原油を止めたら大変。サウジ皇太子のご機嫌は損ないたくない……と各国は及び腰。
世界の自由と民主主義はどこへ行くのか？ あなたはどう思われますか？

森の家

長野県小谷村

二〇一八年十月



今年は幾つもの猛烈な台風が日本を襲った。そして、何時までも夏の暑さが続いた。どうなることかと思ったら、いきなり晩秋のように涼しくなった。夏から冬への大転換だ。
小雨の中、森の別荘地を歩いた。霧が立ちこめていた。背景の木々は霞み、うっすらとしか見えない。
秋の花々に彩られた広い庭から続く敷石の先に、この家があった。
雪深いこの地では地上階は雪に埋もれてしまふ。それだからだろう、地上階は鉄筋コンクリート造。冬は二階が実質的には地上階のようになるのか？
「別荘」ではなく、ここに定住しているそうだ。二階の大きな窓から、西には北アルプスの嶺々が見え、東には雨飾山に続く山々が見えるという。

